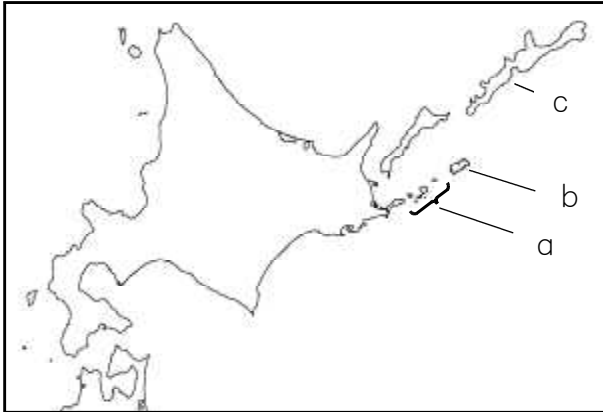


平成26年度 2学期末問題（第5回）
 ほっかいどうチャレンジテスト 社会小6 組 番 氏名

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 11 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1 次の a～d のそれぞれに当てはまることばを書きましょう。なお、文中の a～c は、略地図中の a～c のことです。

〔略地図〕



わが国固有の領土^{りょうど}である a 群島、b 島、c 島、国後島の島々を d といいます。わが国の政府は、ロシア連邦政府に対して d の返還を求めています。

1

a

2

b

3

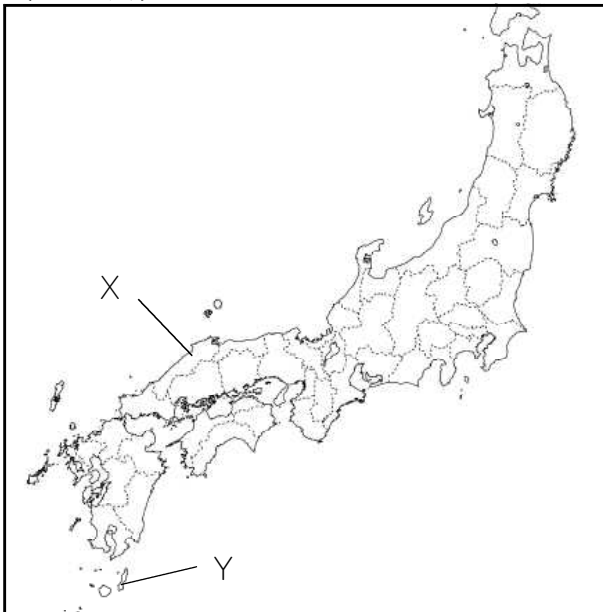
c

4

d

2 次の略地図を見て、問題に答えましょう。

〔略地図〕



(1) 略地図中の X の県の名前を書きましょう。

5 県

(2) 略地図中の Y の島のある県の名前を書きましょう。

6 県

3

次の年表と資料を見て、問題に答えましょう。

〔年表〕

年	主なできごと
1338	足利氏が室町幕府を開く・・・ア
1590	豊臣秀吉が全国を統一する・・・イ
1603	徳川家康が江戸幕府を開く・・・ウ
1641	徳川家光が鎖国を完成する・・・エ

(1) 次の2つのできごとがおこったのは、年表中のア～エのいつからいつの間のことですか。記号で書きましょう。

あ ザビエルが日本にキリスト教を伝える

7 から の間

い 島原・天草一揆が起こる

8 から の間

(2) 資料は、みのる君が作成したノートの一部です。 のタイトルの中の () に当てはまる言葉を書きましょう。

〔資料〕

江戸幕府による () の支配のしくみ

- 大名を親藩、譜代、外様に区別し、全国に配置した。
- 大名を武家諸法度で取りしめた。
- 大名の妻や子どもを人質として江戸に住ませた。

9

4

次の資料は、こうた君とまこさんがそれぞれ、明治時代の学習で「日本が外国に認められる国となるきっかけをつくった人物」についてまとめたものです。二人のまとめを読んで、次の問題に答えましょう。



こうた君のまとめ



まこさんのまとめ

取り上げた人物

①

業績

明治政府がつくったきまりでは、国民は政府にしたがうだけであったため、自分たちも政治に参加することを望むようになりました。

そこで、(①) は大日本帝国憲法をつくり、国会を開設することによって、憲法によって政治を進める近代国家のかたちを整えました。

こんな願いがあった

憲法や国会があれば、国民が安心して生活したり、国民が国づくりに参加したりすることができるだろう。

憲法や国会により、国が安定することで、外国に認められ、対等につきあえるようになるだろう。

取り上げた人物

むつむねみつ こむらじゆたろう
陸奥宗光と小村寿太郎

業績

江戸時代に結んだ条約によって、日本は外国との不利な貿易をしていました。また、ノルマンントン号事件のときは、日本の法律で裁判を行うことができませんでした。

そこで、^{むつむねみつ}陸奥宗光は、日本の法律で外国人が事件をおこしたとき^{こむらじゆたろう}裁くことができるようにしたり、小村寿太郎は、日本が輸入品に自由に関税をかけることができるようにしたりしました。

こんな願いがあった

②

(1) ①に当てはまる人物名を書きましょう。

10

(2) まこさんは、②に、^{むつむねみつ}陸奥宗光と^{こむらじゆたろう}小村寿太郎の業績をまとめてから、その願いを説明する文章を書きました。あなたも陸奥宗光または小村寿太郎についてその願いを書きましょう。

11

11 問中